

社会福祉法人杜の会

2021（令和3）年度

事業報告書

（2021年4月1日～2022年3月31日）



I 社会福祉法人 杜の会 事業報告

1. 2021(令和3)年度事業報告について

2021年度は、前年度に引き続きコロナ対応の一年となりました。平和の杜では期中2度の緊急感染対策を実施し、特に2月には入所者の8割以上と職員二十数名が陽性となる状況になりましたが、重症化することなく3月中旬には収束できました。グループホーム福井倶楽部には影響なく、通所リハビリテーションや訪問系事業では利用者の減少を招くことになりましたが、これも年度内に限定されました。

6月には法人役員の改選がありました。1名(平和の杜施設長・理事)以外の理事、監事、評議員、評議員選任・解任委員は再任され、継続して法人業務の任にあたっております。

10月には法人設立5周年記念事業として、永年勤続表彰と記念品の贈呈を実施することができました。

夏祭りなど多数の人が参加する企画は縮小せざるを得ず、利用者、家族の皆様の楽しみを制限する結果となりました。一方、家庭や来所でのリモート面会を継続し、家族へ写真付きの手紙を送る等の情報発信にも努めました。

前年度から実施しております奨学資金貸与事業については、昨年4月に1名の採用につながり、優秀な職員確保の一助となっております。

2. 人財育成の強化

人事考課を開始した当初は、個人目標に関して職員が「やらされている」という意識で取り組む姿も見受けられましたが、4年が経過し、職員それぞれが法人で実現したい目標を自ら見つけ成長を感じた一年でした。法人に必要な人財育成教育と、「個」としての成長につながるよう取り組みました。

3. 理事会・評議員会等の開催状況

【理事会】

回	開催日	議事内容	
1	2021.6.2 (スカイプによるテレビ会議)	報告	1. 2020(令和2)年度下半期苦情解決状況報告について 2. 理事長の職務の執行の状況について 3. 新型コロナウイルス感染症感染経過報告について
		議決	1. 2020(令和2)年度事業報告の承認について 2. 2020(令和2)年度決算の承認について 3. 社会福祉充実残額の承認について 4. 定時評議員会招集の承認について 5. 次期役員候補者推薦の承認について 6. 次期評議員候補者推薦の承認について 7. 次期評議員選任・解任委員会委員の承認について 8. 定款変更の承認について 9. 社会福祉法人杜の会 就業規則の改訂施行の承認について 10. 社会福祉法人杜の会 育児介護休業規程の改訂施行の承認について
2	2021.6.17 (書面にて)	議決	1. 理事長1名の選任について

3	2021.9.16 (スカイプによるテレビ会議)	報告	1. 理事長の職務の施行の状況について 2. 令和3年度社会福祉法人及び介護老人保健施設の実地指導及び指導監査について
		議決	1. 社会福祉法人杜の会 永年勤続規程制定施行の承認について 2. 社会福祉法人杜の会 ハラスメント防止に関する規程制定施行の承認について
4	2021.12.9	報告	1. 理事長の職務の施行の状況について 2. 令和3年度社会福祉法人及び介護老人保健施設の実地指導及び指導監査について 3. 2021(令和3)年度第1回第三者委員への報告会について
		議決	1. 2021(令和3)年度資金収支1次補正予算の承認について
5	2022.3.30 (スカイプによるテレビ会議)	報告	1. 2022年2月17日からの新型コロナウイルス感染症の経過についての報告 2. 理事長の職務の執行の状況の報告 3. 2022年度 杜の会職員の昇進者の報告 4. 介護老人保健施設平和の杜在宅強化型の算定開始の報告
		議決	1. 2021(令和3)年度資金収支最終補正予算の承認の件 2. 2022(令和4)年度資金収支当初予算及び事業計画の承認の件 3. 特別業務職員(統括責任者、施設長、顧問)との雇用契約の件 4. 管理職(3名)の号棒の件 5. 社会福祉法人杜の会 給与規程の改訂施行の件 6. 社会福祉法人杜の会 育児介護休業規程の改訂施行の件

【評議員会】

回	開催日	議事内容	
1	2021.6.17 (スカイプによるテレビ会議)	報告	1. 2020(令和2)年度事業報告について 2. 2020(令和2)年度下半期苦情解決状況報告について 3. 新型コロナウイルス感染症感染経過報告について
		議決	1. 2020(令和2)年度計算書類(貸借対照表及び収支計算書)、財産目録及び監事監査報告の承認について 2. 社会福祉充実残額算定について 3. 2021(令和3)年6月17日定時評議員会終了時からの理事7名及び監事2名の新役員選任について 4. 定款変更について

【評議員選任・解任委員会】

回	開催日	議事内容	
1	2021.6.17 (書面にて)	議決	社会福祉法人杜の会 評議員選任について

【第三者委員への報告】

回	開催日	議事内容	
1	2021.5.20 (書面にて)	報告	2020(令和2)年度下半期における苦情解決状況の報告
2	2021.11.5 (書面にて)	報告	2021(令和3)年度上半期における苦情解決状況の報告

4. 法人内各事業所の概況…次頁

- Ⅱ… (1) 介護老人保健施設平和の杜
- (2) 通所リハビリテーション
- (3) 平和の杜居宅介護支援事業所
- (4) 平和の杜訪問リハビリテーション
- (5) 平和の杜訪問看護ステーション
- Ⅲ… グループホーム福井倶楽部

5. 行政監査の実施

①令和3年9月（対面によらない監査の方法により実施）…

令和3年度社会福祉法人及び介護老人保健施設の現地指導及び指導監査

②10月18日札幌市西消防署…立入検査（消防関係の書類、防火管理体制、避難通路・避難口の確保、消防用設備等の維持管理・点検、届出が必要な物件の有無）

6. その他

・第4回 杜の会夏祭り 新型コロナウイルス感染症対策の為に中止（昨年に引き続き）

・2022年2月17日から3月21日 介護老人保健施設平和の杜 新型コロナウイルス感染症対策入所2階及び3階レッドゾーン対応

Ⅱ 介護老人保健施設 平和の杜

(1) 介護老人保健施設 平和の杜

1. 2021(令和3)年事業報告について

2021年度は介護報酬の改定があり、感染症・災害の対応力強化、地域包括ケアシステム、自立支援・重度化防止の取組の推進等が重視された内容となりました。平和の杜ではLIFEによる科学的介護の取組の推進・褥瘡予防・排泄支援の取組、リスクマネージャー資格を取得し安全管理者を配置した安全対策体制の整備、管理栄養士を増員し栄養マネジメントの強化を行いました。在宅支援では加算型（在宅復帰・在宅療養支援機能加算Ⅰ）の算定を継続しながら、在宅強化型算定への移行を確実に進めるように充実したリハビリテーションの提供、在宅復帰・在宅療養支援等指標60ポイントの維持、プロジェクトでの検討、職員への内部研修を行い、算定の準備を進めました。

また、2021年4月中津川施設長が退任され、5月から齊藤施設長が着任し新たなスタートを切った矢先に職員の新型コロナウイルス感染があり、初めてレッドゾーン対応での感染対策を経験しました。2022年2月には利用者65名、職員22名の大クラスターが発生し、施設一丸となり治療、介護、感染対策に努め、重症者を出すことなく収束しました。その様な中、慣れ親しんだ施設で最期を迎えたいと希望して下さった2名の利用者に、家族と職員と共にその人らしさを尊重したターミナルケアを行いました。

次年度も感染対策を継続しながら、利用者の状況に合わせたサービスを提供できるように支援します。

2. 計画内容

(1)-1 利用者の尊厳の尊重

①利用者、家族の自己決定が尊重されるようにインフォームドコンセント（説明と同意）、インフォームドチョイス（説明と選択）を行いました。在宅復帰を目指してのリハビリテーションや慣れ親しんだ施設で最期まで過ごせるようにターミナルケアの提供を行いました。

②虐待防止・身体拘束廃止委員会

抑制廃止マニュアルの改定、虐待の芽チェックリストでの日々の業務を振り返る機会の提供、全事業所の虐待事例についての共有、検討を行い虐待防止・身体拘束廃止を取り組みました。今年度は1例の身体拘束の実施がありました。本当に身体拘束が必要であったか、または身体拘束を行わないケアの方法等、委員を中心に検討を重ねました。

(1)-2 安心・安全な生活

①施設サービス計画の作成・変更

在宅復帰、長期療養を目標として利用される方と家族のニーズに合わせた計画を他職種協働で作成することができました。今後も利用者のニーズに合わせた計画を作成し、在宅復帰支援や長期療養支援の目標が達成できるように支援します。

②事故防止対策委員会

事故、ひやりはっと報告が起こった際に原因の究明、防止策の立案が速やかに行えるように事故予防検討の方法、報告書の改定を行い現場ですぐに防止策を行うことができるようになりました。事故、ひやりはっと報告の集計もスムーズに行い、月1回の定例委員会を開催し多職種での情報共有を行えるようになりました。

事故報告は30件でした。入院が必要となる重大事故はありませんでした。

③健康管理

健康管理について、施設長は定期的（1回/2w）に回診を実施しており、変化などにも極めて敏速に対応しておりますが、施設長が診察し医療機関での治療が必要と判断した場合は最善の治療が可能な医療機関を選択し、利用者、家族に適切な場所での療養を提案しました。看護職員は健康状態の把握に努め、安心・安全な日常生活が過ごせる環境作りと在宅復帰のためのリハビリテーションの支援を行います。

④褥瘡対策委員会

褥瘡対策委員が中心となり他職種各々のスキルを活かし多方面から1人ひとりの対象者の情報を持ち合い100%、360度の視点で観られる状況を構築するのが理想ではありますがまだそこまでは辿りつけておりません。褥瘡発生の確認は施設長に状態報告、ラウンド、指示受けをして多職種とコミュニケーションをとりながら褥瘡の状態にあった薬剤、軟膏、テープを用い対象者に合わせた体位変換、クッション、マットレス使用を実践しております。施設内研修で6～7月に看護職員対象にOHスケール・アセスメントシートを実際の利用者を対象に行いました。今年度の褥瘡有病率は1.48%でした。引き続き多職種との対話を充実することで、良い対策、予防策を立案し褥瘡有病率0.00%に近くなるよう努力します。

⑤感染対策委員会

感染対策委員会が中心となり感染症の流行状況を把握し感染予防に努めるのは変わらず同じです。今年度も昨年度に続き、コロナ中心の社会、生活でした。

新型コロナウイルス感染対策を優先し、利用者、家族にも制限を設けさせていただきました。2022年2月17日に職員のコロナ陽性者が発症し、その後次々と利用者、職員に蔓延していきました。収束を迎えたのは2022年3月27日で約1か月以上の長い戦いでした。その間は全てレッドゾーン対応となり、行政の指導を遵守し感染対策（フルPPE）を行いました。現在もリモート面会と入所時の抗原検査を行い、感染対策を継続しています。その他の感染症に関しても発生状況の把握に努め情報提供を行い利用者・職員の感染予防を行います。

⑥ターミナルケア（倫理委員会）

2021年度は利用者2名の人生の最終段階である医療ケア＝ターミナルケアをさせていただきました。利用者、家族の思いに心を寄せ、家族との時間を提供し穏やかな最期が迎えられるように支援しました。また、2名の方のケアなどの全体的な振り返りとして職員にアンケートを実施しました。様々な見方、考え方、意見がありました。まだまだターミナルケアに関しては十分な知識を持っているとは言えませんが研修等の学びを通じて質の向上とスキルアップをし、貴重な体験を今後活かします。

⑦リハビリテーション体制の充実と支援

在宅強化型算定の条件である充実したリハビリテーションの提供のために2021年12月から利用者に週3回以上のリハビリテーションを提供する体制を整えました。

また、利用者へのリハビリテーションが適切に介入できているか定期ミーティングで検討し情報共有を行いました。今後も、提供するリハビリの量だけではなく、その質も向上が図れるよう取り組みます。また、リハビリテーション職員が協働して支援するよう努めます。

⑧口腔衛生管理の強化

生活の楽しみである食事を安全に続けられるように、看護職員、介護職員、言語聴覚士等多職種で連携し、経口維持計画に沿って口腔ケア、食事時の姿勢・頭の角度・開口の状態・飲み込みの動作の観察、睡眠時は「silent aspiration」を起こさないポジショニング等を確認しながら支援しました。肺炎を予防するためにも口腔内の清潔を保持するため負担の少ない口腔衛生管理を行いました。

⑨ 栄養管理

医師、言語聴覚士、管理栄養士など多職種が協力し、美味しく安全な食事摂取ができるように療養食の提供や栄養管理を行いました。今後も利用者の健康の維持・増進が図れるよう取り組み、「楽しく食べること」をサポートします。

⑩ 余暇活動の提供

施設での生活を活動的に過ごせるよう余暇活動や集団レクリエーションを行いました。ラジオ体操や歌体操、やまべ体操等の集団体操の他に、職員と一緒に塗り絵や季節の装飾作り、おしぼり・ウエス作り等手を動かす活動を行いました。午後の時間を中心に棒サッカーやボーリング、カラオケを行い楽しく身体を動かすことができました。夏季は、ベランダに出て日光浴も行いました。次年度も楽しみのある施設生活を送れるよう、余暇系の職員を中心に取り組みます。

⑪ 排泄介助

ケアプランをもとに、利用者の状況に合わせた排泄介助を行いました。適切なおむつ類を使用し、統一したケアができるように介護職員が日々のミーティングで検討・情報共有を行いました。今年度のおむつ代は、3,958,407円でした。次年度は、排泄系の職員を中心に清潔保持・費用削減に取り組みます。

(2) 在宅復帰・在宅支援

在宅復帰は介護老人保健施設の使命です。利用者・家族の意向を確認し、継続して在宅復帰の支援を行います。現在入所中の軽度要介護者についても安心して自分らしく地域で生活して頂けるよう在宅復帰への支援を継続します。重度要介護者については、特別養護老人ホーム等の終の棲家で生活できる期間までの長期療養支援を行います。

(3) 人材育成の強化

① 職員研修

コロナ禍ということもあり、施設外研修はZOOMでの視聴が殆どでしたがコロナに関しての市の保健所の説明会は直に聴くことができました。今後も対面講義が少なくなりリモートや画面を介しての研修、会議等が主流になります。対面の方が感情や人間性が伝わりますが感染予防が一番ですので今後も注意して施設外研修に望みます。

内部研修は教育係及び各委員会の企画、運営で行いました。

研修内容や実施回数は介護保険法や札幌市からの指導により計画したものです。

a. 外部研修

研修期間	研修会名	参加職種	人数
4/13	新型コロナウイルスワクチン接種医療機関向け説明会	看護職員	1
4/26～5/13	リスクマネジャー養成講座	介護支援専門員	1
6/5～7/25	介護福祉士実習指導者講習会	介護職員	1
12/8	これからのコロナ	顧問	1
12/18	失敗しない人事評価の運用方法	顧問	1
12/21	成果の出る評価シート	顧問	1
1/31	認知高齢者に対する虐待防止・身体拘束適正化研修	介護職員	1

b. 内部研修

研修日	研修会名	参加職種	人数
4/23.27	2021年度 事業計画	全職種	29
5月	倫理と法令遵守について	全職種	8 部署へ資料配布
6月・7月	褥瘡予防について	全職種	8
7月27.28.29	食中毒予防・感染対策の基本は「手洗い」	全職種	10
9/27,10/4,7	「メンタルヘルス」について	全職種	36
10/12,15,18	非常災害時の対応	全職種	47
10月	緊急時の対応について	全職種	8 部署へ資料配布
12/21	ノロウイルス吐物処理方法	全職種	12
12/23,29	入所の事故集計と傾向について	全職種	30
1/11,20	接遇マナーについて	全職種	42
2/8,16	在宅強化型について	全職種	37
2/9	事故予防について	全職員	10

※内部研修については通所、居宅、訪問リハ、訪問看護、福井倶楽部合同参加

c. 介護職員の勉強会

介護職員対象の勉強会を行い、知識を高めることができました。

5月:記録のマニュアル 6月:離設時の対応 8月:報連相の大切さ 9月:事故・ひやりはっと要因分析・防止策 SHEL Lモデル・スキンテアについて

11月:排泄ケア 12月:不適切ケア 2月:離設・救急搬送

②接遇向上委員会

接遇委員が中心となり、接遇アンケートを実施、日々の業務での接遇の見直しを行いました。接遇スローガンを職員から公募し施設内に掲示、朝礼で職員周知する活動を行いました。また、1月には接遇委員が、接遇マナーについての内部研修を実施しました。次年度も職員の接遇に対する意識が向上するような取り組みを継続します。

(4) 安定した施設運営

加算型（在宅復帰・在宅療養支援機能加算Ⅰ）の算定を継続することができました。在宅強化型算定を目標とし、8月より在宅復帰・在宅療養支援等指標60ポイント以上を継続することができました。次年度は在宅強化型を算定します。

①ベッド利用率は平均96.4%でした。98.3%以上の目標達成はできませんでした。

②在宅復帰率（目標40%以上）は平均61%、ベッド回転率（目標10%以上）は平均6.89%でした。

3. 平和の杜の概況

① 職員配置

2022年3月末現在

	施設長	支援専門員	支援相談員	看護職員	介護職員	管理栄養士	リハビリ	事務員	施設管理
定数	1	1	1	8	19	1	1	0	0
配置数	1	3	4	10	32	2	11	5	3

※医師は施設長、医師・管理栄養士・事務員・施設管理は通所リハも兼務

支援相談員は、3名介護支援専門員と兼務、1名事務職員と兼務。リハビリ職員は、10名通所リハ、訪問リハと兼務。

②利用者の状況

a. 利用者定員 80名（一般棟40名・認知症専門棟40名）

b. 月平均の1日の入居者数 2022年3月末現在

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
79.3	78.4	77.1	77.4	76.4	75.8	76.8	76.2	78.2	78.0	76.2	76.6	77.2

c. 利用者の年齢構成 2022年3月末現在

	65才未満	65~69	70~79	80~89	90才以上	平均年齢
男性	0	6	6	9	5	78.4
女性	0	1	8	15	27	80.7
合計	0	7	14	24	32	79.6

d. 利用者の介護度 2022年3月末現在

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
利用者	22	19	19	15	2	2.43

③地域との連携

- a. 「杜のこえ」の発行（毎月）
- b. 病院・居宅介護事業所との連携
- c. 専門学校（介護）への講師
- d. 町内会への参加
- e. 神社や町内会行事への寄付
- f. 敷地内を保育園児に開放

④実習の受け入れ

- a. 介護福祉士養成課程実習
 - ・札幌医療秘書福祉専門学校
 - 7/12~7/23 10日間 1年生2グループ（5名・6名）オンライン実習
 - 11/22~12/15 1年生 3名 グループ実習

⑤防災対策の充実

防火（避難）訓練を2回（防災協会立会1回）実施しました。
 定期の消防設備点検を実施しました。

⑥苦情解決状況

第三者委員への申し立てはありませんでした。
 第三者委員には、下記の内容について定期報告をしました。

a. 【苦情受付状況】

項目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

b. 【相談の分類】

項目	件数
a ケアの内容に関わる事項	0
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d 制度・試策・法律に関わる要望	0
e その他（ ）	0

c. 【苦情の想定原因】

項目	件数
a 説明・情報不足	0
b 職員の態度	0
c サービス内容	0
d サービス量	0
e 権利侵害	0
f その他（ ）	0

⑦各種会議・委員会実施状況

会議等	実績	委員会等	実績
運営会議	12回	感染対策委員会	46回
給食会議	11回	褥瘡対策委員会	11回
入所判定会議	34回	事故防止対策委員会	53回
サービス担当者会議	152回	虐待防止・身体拘束廃止委員会	11回
経口維持会議	12回	接遇向上委員会	11回

⑧行事等実施状況

4月	中華セレクトディナー 春のカラオケ大会	10月	秋の運動会 秋のお茶会
5月	お花見会 春の運動会	11月	鍋の会 球技大会
6月	ケーキバイキング プリンアラモード	12月	クリスマス会
7月	流しそうめん 熱中症予防体操	1月	新年会 デートに行きましょうね
8月	夏祭り	2月	豆まき大会 鬼退治
9月	敬老会	3月	ひな祭り

(2) 平和の杜 通所リハビリテーション

1. 2021(令和3)年度事業報告について

前年度に続き 2021 年度も新型コロナウイルス感染症対策継続により全ての活動内容において制限がありました。送迎時の検温、手指消毒・施設内消毒作業、感染状況を見極めながらの新規受け入れ、複数事業所を利用している方への事業所 1 本化依頼、外出行事の中止等「with コロナ」体制を受け入れ、新たなサービス提供に取り組みました。感染対策強化により消毒作業も日常業務となり定時消毒時間を設けました。業務内容は増加していますが、職員全員の技術や知識の向上、業務の見直しによる効率化により現状の職員数で質を低下させることなくサービス提供体制を維持できました。来年度も利用者の楽しみであった外出行事やシナプソロジーの提供を見合わせるなど制限が続きますが、個別性を重視したサービス提供・新型コロナウイルス感染予防に努め地域に貢献できる通所リハビリテーションを目指します。

2. 通所リハビリテーションの概況

① 職員配置

2022 年 3 月末現在

	施設長	支援相談員	看護職員	介護職員	管理栄養士	リハビリ	事務員	施設管理
定数	(1)	0	0	4	(1)	(1)	0	0
配置数	(1)	(1)	1	9	(2)	(9)	(4)	(4)

() は兼務

②利用者の状況

a. 利用者定員 40 名 (要支援者含む)

b. 1 日当りの平均利用者数 (前年度の平均は 26.8 名でした。)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29.5	27.8	24.7	25.5	24.4	25.3	26.0	26.5	25.3	24.4	19.7	21.5	25.0

c. 利用者の年齢構成

2022 年 3 月末現在

	65未満	65~69	70~79	80~89	90才以上	合計
男性	2	1	12	14	12	41名
女性	2	0	4	7	5	18名
合計	4	1	16	21	17	59名

d. 利用者の介護度

2022 年 3 月末現在

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	要支援 1	要支援 2	合計
20	10	3	2	2	8	14	59名

3. 事業内容

①処遇・援助

a. 通所リハビリテーションサービス計画書

介護支援専門員作成の計画書を元に、各利用者の心身状態・生活環境などを考慮した個別性を重視した計画書作成に努めました。また自宅で生活する上で不便に感じていることを確認し生活の質を向上できる内容にしました。専門用語を使用せず誰が見てもわかりやすい計画書を作成しました。

b. 食事

昼食前の嚥下体操を毎回実施することで、唾液分泌や誤嚥予防に取り組みました。個々の嚥下状況・嗜好・摂取状況の把握に努め、その方に適した食事形態・食事を提供

するなど、言語聴覚士・管理栄養士と連携し検討・変更・評価を行いました。

c. 入浴

個人の身体機能・残存機能を把握し、過剰介護にならないよう適切な介助・見守りを提供できる取り組みを継続し、安全で快適な入浴提供に努めました。

d. 排泄等

オムツやパッドに頼ることなく可能な限りトイレで排泄できるように、個々の排泄パターンの把握に努めました。トイレ誘導の際には声かけを工夫し、羞恥心への配慮を心掛けました。

清潔な環境で排泄できるようにトイレ内の定期点検・清掃・消毒を行いました。

e. 健康管理

お迎え時の検温・マスク着用や手指・手すりなどの消毒、送迎車内の換気・利用中の健康管理（バイタルチェックや全身状態の観察・確認、食事摂取状況の確認、毎月の体重測定など）を継続的に実施しました。

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を中心に個々の状態に合わせたリハビリテーションを提供しました。感染予防の為、家屋調査は十分に実施できませんでしたが、本人・家族へ生活状況の聞き取り等を踏まえ、生活上の助言・指導に努めました。リハビリだけでなくトレーニングマシンやエアロバイクでの運動の機会を提供し、安全かつ無理なく運動量を確保できるように支援しました。

f. 身体的拘束の禁止の徹底

職員間でマニュアルを定期的に確認し身体拘束に対する意識を高めるように取り組みました。

g. 各種会議・委員会

会議等	実績	委員会等	実績
通所会議	12回	事故予防委員会	66回
業務改善会議	12回	感染対策委員会	12回
接遇向上委員会	12回		

h. 行事等実施状況

行事		行事	
春のお茶会	4/19～4/23	ぼかぼか鍋パーティー	11/22～11/26
春の昼食会	5/10～5/14	クリスマス会&忘年会	12/22～12/24
ミニミニゲーム大会	6/21～6/25	新年ビンゴ大会	1/8～1/5
サマーフェスティバル	7/21～7/23	バレンタイン	2/14
納涼かき氷大会	8/9～8/13	まんぷく喫茶	2/15～2/18
クイズ大会	9/22～9/24	春のミニゲーム大会	3/21～3/25
秋のお茶会	10/25～10/29		

②内部研修

P7介護老人保健施設 平和の杜に記載。

内部研修については入所、居宅、福井倶楽部合同参加

③苦情解決状況

第三者委員への申し立てはありませんでした。

第三者委員には、下記の内容について定期報告をしました。

a. 【苦情受付状況】

項 目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

b. 【相談の分類】

項 目	件数
a ケアの内容に関わる事項	0
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d 制度・試策・法律に関わる要望	0
e その他 ()	0

c. 【苦情の想定原因】

項 目	件数
a 説明・情報不足	0
b 職員の態度	0
c サービス内容	0
d サービス量	0
e 権利侵害	0
f その他 ()	0

④防災対策の充実

防火（避難）訓練を2回（防災協会立会1回）実施しました。

定期の消防設備点検を実施しました。

(3) 平和の杜居宅介護支援事業所

1. 2021(令和3)年度事業報告について

短い時間でも対面での訪問を大切にしましたが、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の期間は、訪問回数が減りました。その場合でも利用者・家族への電話でのモニタリングやサービス事業所との連絡を密にすることで状況把握や適切な支援を行いました。

利用者やその家族がコロナウイルスに感染してサービス利用ができないときは、生活が困らぬようにサービス事業所と相談し、接触を避けながらできる支援の依頼や法人の了解を得て生活支援を実施するなど、利用者の暮らしを支えることができました。

質の向上にも取り組み、ZOOMでの外部研修への参加、他事業所との合同研修の開催、包括支援センター主催の事例検討参加、事業所内での事例検討等の取り組みを行いました。

2. 平和の杜居宅介護支援事業所の概況

①職員配置数

2022年3月末現在

職 種	管 理 者	介護支援専門員
定 数	(1)	(1)
配 置 数	(1)	8(2)

()は兼務

②利用者の状況

a. 要介護（国民健康保険連合会請求分）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
206	207	205	190	197	202	207	190	194	192	188	192	2,370件

b. 要支援（地域包括支援センター請求分）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
41	43	41	41	38	38	40	41	41	42	41	39	486件

③相談援助

訪問相談件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
226	172	145	223	244	249	263	232	213	151	112	225	2,455件

④その他（年間件数） 2021年4月～2022年3月分

a. 認定手続代行者数 b. 新規契約者数 c. 契約満了者

120件

51件

62件

※b・cは介護予防者を除く

d. 利用者紹介元

利用者の紹介元	件数
病院	5
地域包括支援センター	18
他事業所	10
家族	8
要支援→要介護	9
その他	1
合計	51件

e. 利用者の移行先 2021年4月～2022年3月

利用者の移行先	件数
病院	14
介護施設	14
サ高住等	7
死亡	22
要介護→要支援	1
その他	4
合計	62件

⑤委員会

会議等	実績	委員会等	実績
居宅会議	50回	感染対策委員会	11回
		虐待防止策委員会	11回

⑥苦情解決状況

第三者委員への申し立てはありませんでした。

第三者委員には、下記の内容について定期報告をしました。

a. 【苦情受付状況】

項目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

b. 【相談の分類】

項目	件数
a ケアの内容に関わる事項	0
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d 制度・試策・法律に関わる要望	0
e その他 ()	0

c. 【苦情の想定原因】

項目	件数
a 説明・情報不足	0
b 職員の態度	0
c サービス内容	0
d サービス量	0
e 権利侵害	0
f その他 ()	0

⑦職員研修等

a. 内部研修

P7 (1) 介護老人保健施設 平和の杜に記載。

内部研修については入所、通所、訪リハ、訪看、福井倶楽部合同参加

b. 外部研修

月 日	研修会名	主催	人数
9/16	事例検討会	西区第2包括支援センター	1
11/19	地域と繋がり地域を知ろう	西区第3包括支援センター	1
12/13	新型コロナウイルス感染症患者発生時の対応	札幌市医師会地域医療部	1
12/15	飲酒問題を抱える高齢者への対応の仕方	旭山病院	1
1/22	主任介護支援専門員向上研修	北海道介護支援専門員協会	1
2/19	管理者研修	北海道介護支援専門員協会	1

他法人との研修：五天山園、宏友会、札幌西、はっさむはると実施（5/12、9/16、11/10、2/10）各3名出席。

(4) 平和の杜訪問リハビリテーション

1. 2021(令和3)年度事業報告について

2018年10月に事業を開始し、2021年度は50名の利用者に訪問リハビリテーションを実施することができました。また、作業療法士を増員したことにより日常生活動作の指導や生活空間での環境整備の支援について専門的な視点で関わる事が出来ました。全体を通して、利用者の生活ニーズについて把握し、心身機能の維持や回復を図り、生活の質を高めるための支援ができるように職員一同自己研鑽を積み業務に従事しました。また、利用者がいつまでも地域で自立した在宅生活を送れるように支援をしました。

2. 平和の杜訪問リハビリテーションの概況

①職員配置数

2022年3月末現在

職 種	管 理 者	理学療法士等
定 数	(1)	(1)
配 置 数	(1)	(8)

()は兼務

②リハビリ実施件数(要介護、要支援) 2021年4月～2022年3月

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
351	277	376	413	415	427	407	387	379	275	251	320	4,278件

③相談件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2	3	5	3	2	3	4	2	2	5	5	2	38件

④実施地域

西区	中央区	手稲区
40名	8名	2名

⑤利用者の転帰先(2021年4月～2022年3月)

利用者の転帰先	件数
通所リハビリ、通所介護	1
入院	4
その他	11
合計	16件

⑥苦情解決状況

第三者委員への申し立ては0件でした。

第三者委員には、下記の内容について定期報告をしました。

a. 【苦情受付状況】

項 目	件数
苦情受付数	1
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	1

b. 【相談の分類】

項 目	件数
a ケアの内容に関わる事項	1
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0

c. 【苦情の想定原因】

項 目	件数
a 説明・情報不足	1
b 職員の態度	0
c サービス内容	0

d	制度・試策・法律に関わる要望	0
e	その他（ ）	0

d	サービス量	0
e	権利侵害	0
f	その他（ ）	0

⑦職員研修等

a. 内部研修

P7 介護老人保健施設 平和の杜に記載。

内部研修については入所、通所、居宅、訪看、福井倶楽部合同参加

b. 外部研修

月日	研修会名	場 所	人数
11/11	訪問リハビリテーション連絡会「介護報酬改定について」	オンライン開催	1

(5) 平和の杜 訪問看護ステーション

1. 2021（令和3）年度事業報告について

2018年10月に訪問看護ステーションを開設、今年で4年目を迎えますが、あいかわらず人員不足に悩まされております。人員が充足すれば可能となる業務も断念せざるを得ない状況があり厳しさを痛感しております。利用者には緊急時対応を中止しなければならずご迷惑をおかけし大変心苦しい年でもありました。その様な中でも、施設内の多職種との連携を深め共同の業務が増えたりサポートをしてもらったりと情報の共有と密な連携が取れたことは大きな収穫でした。コロナに関しては、施設内感染が発生した時に利用者や家族にご理解をいただき徹底した感染予防対策の上訪問を行いました。訪看として感染者を出すことなく対応できました。今後もコロナは形を変化させながら押し寄せてきますが、今年度学んだことを教訓として活かします。

施設外での研修機会も減少しましたが、それぞれの得意分野の勉強会を開催し研鑽を重ねました。今後も他のステーション、他職種との連携を密に現利用者に加え可能な範囲で新規利用者との契約に応じていく所存です。

2. 平和の杜訪問看護ステーションの概況

①職員配置数

2022年3月末現在

職種	常勤	非常勤	備考
管理者（看護師）	（1）		看護師と兼務
看護師	3（1）		1名管理者と兼務
リハビリ職員	（5）		平和の杜・平和の杜訪問リハビリテーションと兼務
事務職員	（5）		平和の杜と兼務

（ ）は兼務

②利用者の状況

a. 要介護

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	18	19	18	18	16	15	15	14	15	14	14	11	991
延べ回数	111	83	109	107	93	91	85	74	68	61	59	50	

b. 要支援

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	102
延べ回数	12	9	12	14	10	7	8	7	6	6	5	6	

c. 医療

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	623
延べ回数	71	36	60	55	48	61	54	59	62	47	43	27	

d. 合計

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	27	28	27	27	24	22	22	21	22	21	20	17	1716
延べ回数	194	128	181	176	151	159	147	140	136	114	107	83	

③相談件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
7	1	3	0	1	2	3	2	0	0	1	1	21

④その他（2022年3月現在）

指示書発行機関 11 機関

指示書発行医師数 15 名

e. 利用者紹介元 2021年4月～2022年3月

利用者の紹介元	件数
病院・クリニック	0
地域包括支援センター	3
介護施設	0
居宅介護支援事業所	12
家族	0
その他	0
合計	15

f. 利用者の移行先 2021年4月～2022年3月

利用者の移行先	件数
病院	6
介護施設	3
死亡	0
自宅	0
その他	7
合計	16

⑤苦情解決状況

第三者委員への申し立てはありませんでした。

第三者委員には、下記の内容について定期報告をしました。

a. 【苦情受付状況】

項 目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

b. 【相談の分類】

項 目	件数
a ケアの内容に関わる事項	0
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d 制度・試策・法律に関わる要望	0
e その他 ()	0

c. 【苦情の想定原因】

項 目	件数
a 説明・情報不足	0
b 職員の態度	0
c サービス内容	0
d サービス量	0
e 権利侵害	0
f その他 ()	0

⑥職員研修等

a. 内部研修

P7 介護老人保健施設 平和の杜に記載。

内部研修については入所、通所、居宅、訪リハ、福井倶楽部合同参加

b. 外部研修

月日	研修会名	場 所	人数
4/17	令和3年介護報酬改定説明会		1
7/17	新型コロナウイルス感染対策	オンライン開催	2

Ⅲ グループホーム 福井倶楽部

1. 2021（令和3）年度事業報告について

2021年度は昨年同様、コロナ禍でも充実した時間を過ごし、利用者・家族ともに安心していただけるようサービス提供に努めました。今年度から管理栄養士の指導を受け、毎日の食事に新しいメニューを取り入れ、行事や誕生日の献立にも力を入れることができました。また、作品のレベルを上げる工夫や体を動かすゲームを増やす等、余暇の充実を図り日常の中で有意義な時間を提供することができました。職員から家族へこまめな連絡や写真を送付する以外にも、可能な方には手紙や電話でご自分から家族へ近況報告を行う機会を作りました。まだ暫くこのような状況が続くと予想されますが継続して利用者、家族がともに安心できるように工夫し、安全で穏やかに過ごせるように支援します。

2. 福井倶楽部の概況

①配置職員

2022年3月末現在

	管 理 者	計画作成担当者	介 護 職 員	看 護 職 員
定 数	(1)	1	3	(1)
配 置 数	(1)	(1)	5 (2)	1

*管理者は介護職員を兼務。*計画作成担当者は介護職員を兼務。

*（ ）は兼務者の人数。

②利用者の状況

a. 利用者定員 9名

b. 入・退所状況 (直近3ヶ月)

	1月	2月	3月
入 居 者	0	0	0
退 居 者	0	0	1

c. 利用者の介護度内訳

2022年3月末現在

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
5	2	1	0	0

3. 事業内容

①地域とのかかわり

2021年度は町内会の行事は全て中止でしたが、ホームの広報誌を回覧板で回していただいたり、町内の方に運営推進会議（現在は書面会議）に参加していただいたりと、地域の中のグループホームとして活動することができました。

②サービス

個別性とストレスのない穏やかな生活をテーマにサービスを提供しており、明るく家庭的な雰囲気です。寄り添う介護ができました。

③事故報告

誤薬2件（与薬忘れ2件）、骨折2件

④職員研修

a. 内部研修

P7介護老人保健施設 平和の杜に記載。

内部研修については入所、通所、訪リハ、訪看、居宅等合同参加

b. 外部研修

虐待防止、身体拘束防止研修（リモート） 1名

⑤ 苦情解決の状況

第三者委員への苦情の申し立てはありませんでした。

第三者委員には、定期報告をしました。

a. 【苦情受付状況】

項 目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

b. 【相談の分類】

項 目	件数
a ケアの内容に関わる事項	0
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d 制度・試策・法律に関わる要望	0
e その他（ ）	0

c. 【苦情の想定原因】

項 目	件数
a 説明・情報不足	0
b 職員の態度	0
c サービス内容	0
d サービス量	0
e 権利侵害	0
f その他（ ）	0

⑥ 外部評価の実施

2021（令和3）年12月23日に福祉サービス評価機構Kネットにより実施しました。

事業報告の附属明細書

2021（令和3）年度事業報告には、社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。

社会福祉法人 杜の会
理事長 大橋 俊男